

事業所名

Welhaus

## 支援プログラム（参考様式）

作成日

令和6年

2月

24日

法人（事業所）理念		子ども達その御家族、働く支援者も笑顔で過ごせるための社会の一翼を担う。								
支援方針		プラスのストローク（肯定的な関り）を通して「ありのままの自分を受け入れてその自分を好きになれる」ようになる。小さな成功体験を積み重ねて5領域への支援に加えて心の根幹である「自己肯定感」を育む。								
営業時間		10時	00分	から	19時	00分	まで	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容										
本人支援	健康・生活	・ご要望に応じて検温や排泄の記録を実施します。日々のおやつは急激に血糖値が上昇するスナック菓子をできるだけ避け、バナナやリンゴなどの果物をメインで提供します。								
	運動・感覚	180㎡の広い敷地に人工芝で走り回れる公園のような施設です。ボルダリング設備、跳び箱、鉄棒を常設。運動や遊びを通して毎日の放課後の時間に満足し、心地よい疲労感を持って帰宅できるような関りを持ちます。過敏症やパニックに対応するためイヤーマフとチェンブランケット、クールダウンスペースを設置しています。								
	認知・行動	・認知の偏りに配慮し遊びの中で適切な行動を学べるような関りを提供します ・ご要望に応じてDCD（発達性協調運動症）支援の一環として粗大運動と微細運動を組み合わせた協調運動を促す不器用な子ども達のための認知作業トレーニングを、LD対策として「見る」「聞く」「想像する」ための認知機能強化トレーニングを実施し小さな成功体験の積み重ねを支援します。								
	言語コミュニケーション	・強制感を持たせないよう配慮した関りの中でのコミュニケーション能力の向上、挨拶や場面に合った言葉遣いができるように発表する機会を設けます。 ・読み、書きに対しての学習支援。								
	人間関係社会性	・一人で集中して取り組める活動から皆の協力が必要なものまで月曜日から土曜日まで毎日違う内容の工作やゲームなどのプログラムを用意。 ・自己理解、他者理解の機会の提供								
家族支援		①御家族も共に楽しめる運動機会の提供。②御本人の発達状況や支援のニーズを確認し、関わり方やご兄弟のことを含めた様々な不安や困りに寄り添い、助言を行う。			移行支援		インクルージョンに向けた取組の推進 Welhausではインクルーシブの観点から地域社会の中で積極的に活動することを推進するため、地域の公園、児童運動施設を活用し集団行動を行います。②保育所や学校等への訪問や受け入れの際に行った会議を通じて、児童の心身の状況や生活環境などの情報連携を実施します。			
地域支援・地域連携		①相談支援事業所や障がい福祉サービス事業所との連携。 学校や併用利用先との情報共有			②		職員の質の向上		①ASD/ADHDと自己肯定感に関する入職者研修 虐待防止（身体拘束）に関する研修 ②事故防止に関する研修 ③感染症に関する研修 ④防犯に関する研修 ⑤災害に関する研修	
主な行事等		・季節の行事（お花見・初詣・ハロウィン・クリスマス等） ・毎週のおやつ作り 外部講師による運動プログラム、絵本の読み聞かせ、音楽会を実施。								